

退職金運用 プレミアキャンペーン

2012.2.1~2013.1.31

金融資産の運用はこれからの人生設計に合わせ、流動性・安全性・収益性の3つに分けて上手に殖やすことがポイントです。今回は短い期間でもしっかり運用できるように、3つのタイプをご用意致しました。大切な退職金だからこそ、焦らず、ゆっくりご検討下さい。宮崎太陽銀行は、退職金運用のアドバイスや資産づくりセミナー、年金相談会など、これからの人生設計に役立つ相談サービスをご提供してまいります。お近くの窓口までお気軽にご相談下さい。

商品その1

退職金専用定期預金 【プレミア大口定期預金・スーパー定期預金】

退職金の運用はじっくり考えたい。でも普通預金のままにしておくのはもったいないですね。わずか3ヶ月間の短期間でも高い金利で運用したいとお考えの方にお勧め！じっくりとこれからの資産運用について、ご検討下さい。

大口定期預金預入金額
1000万円以上3000万円まで 期間 3ヶ月

年利1.50% (税引後1.20%)

1000万円の場合、お受取りのお利息は、おおよそ30,000円になります。

満期時には店頭表示基準金利に戻ります。

スーパー定期預金預入金額
300万円以上3000万円まで 期間 3ヶ月

年利1.20% (税引後0.96%)

300万円の場合、お受取りのお利息は、おおよそ7,200円になります。

募集総額

30億円

募集総額に達しました場合は、キャンペーン期間中であっても締め切らせていただきます。



商品その3

株式投資信託とセットになった
退職金専用定期預金

【ハッピー投信パック】

定期預金で確実に殖やし、投資信託でも運用益を狙いたい！そんな収益性重視の方にお勧め！

スーパー定期預金預入金額 100万円以上3000万円以内で
株式投資信託を同時ご購入金額以内 期間 6ヵ月

年利1.00% (税引後0.80%)

1000万円の場合、お受取りのお利息は、おおよそ40,000円になります。

満期時には店頭金利に戻ります

商品その2

退職金専用定期預金 【悠you自適応援団】

しばらくは、金利の動向もみたい。中・長期的な運用はスーパー定期がお勧め！

スーパー定期預金預入金額 100万円以上
合計3000万円まで 期間 1年・3年・5年

1年ものは、**年利0.10%** (税引後0.08%)

3年ものは、**年利0.20%** (税引後0.16%)

5年ものは、**年利0.30%** (税引後0.24%)

満期時には店頭金利に戻ります

さらに、年金のお受取り口座を当行に指定すると、それぞれの商品に+0.1%金利上乗せ致します。

商品のお取扱いについてと投資信託に関する留意事項は、裏面をご確認下さい▶

詳しくは、各営業店までお問い合わせ下さい。

商品のお取扱いについて

- ※退職金を当行または他行でお受取り後1年以内のお客様が対象です。ただし、前回キャンペーンでのお預け入れの方は除きます。
- ※今回新規にお預け入れされる定期預金対象です。（お1人様3000万円以内）すでに当行にお預け入れの定期預金からのお振替、ご継続は対象外です。
- ※お申込みは店頭のみとさせていただきます。（ATMやインターネットでのお申込みはできません）
- ※お申込みの際は、退職金であることを確認できる資料を店頭にてご提示下さい。（退職所得の源泉徴収票、退職金支給明細票、退職金振込通帳など）
- ※いずれの定期預金も他のキャンペーン等の金利上乘せとの合算はいたしません。
- ※また、いずれの定期預金も初回満期日までの適用金利となります。
- ※大口定期、スーパー定期預金は、預金保険の対象商品です。（ただし、元本1000万円とその利息まで）
- ※満期日前にご解約される場合は当行所定の中途解約金利を適用します。
- ※店頭にて説明書をご用意しています。
- ※本キャンペーンの特別金利は、今後の金利情勢その他の事情により、事前に通知することなく変更する場合がございます。

投資信託に関する留意事項

- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 当行でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 投資信託は、投資元本が保証されている商品ではありません。
- 投資信託の設定・運用は投資信託会社が行います。
- 過去の投資信託の運用実績は、将来の運用結果を約束するものではありません。
- 投資信託の運用による損益は投資信託をご購入された投資家のみなさまご自身に帰属します。
- 投資信託は、株式、公社債などの値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。これに伴うリスクは、ご投資家のみなさまのご負担となります。
- 投資信託に係る手数料は、ファンドにより異なりますが、投資家のみなさまに直接ご負担いただく費用として、当行所定のお申込手数料（お申込み代金総額に対し最大3.15%（税込））がかかるほか、一部のファンドは換金時に信託財産留保額（換金時の基準価額の最大0.5%）がかかります。また、保有期間中、間接的にご負担いただく費用としまして、信託報酬（純資産総額に対し最大年率2.10%（税込））がかかるほか、組入有価証券の売買委託手数料や監査報酬等その他の費用（運用状況等により変動するものであり、事前に利率、上限額等を表示することができません）がかかります。なお、当該手数料の合計額については、ご投資家のみなさまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。くわしくは、各ファンドの契約締結前交付書面、投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。
- 投資信託は、金融商品取引法第37条の6の規定に基づく書面による契約の解約（クーリング・オフ）の適用はありません。
- 投資信託をご購入の際は、契約締結前交付書面、投資信託説明書（交付目論見書）等の内容をよくお読みいただき、ファンドの内容を十分ご理解のうえお申込みください。

リスク

- | | |
|--------------------------------|--|
| 為替
リスク | 日本円と米ドル、ユーロなど、外国通貨への交換レートは常に変動しています。外貨預金等の外貨建ての金融商品は、円に換算する際に、その時点のレートによって資産価値が増えたり目減りしたりすることがあります。これが為替リスクです。 |
| 価格変動
リスク | 株式の価格（株価）に代表されるように、価格が上下に変動するリスクです。たとえば株価はその会社の業績や、会社の属している業界の動向等に左右されます。 |
| 金利
リスク | 金利は景気や政策等によっても変動します。預金金利や債券の金利はこの金利動向に影響を受けて変動します。 |
| 信用
リスク | 株式や債券を発行している会社の経営状態の変化が、株価や債券価格に影響を与えるリスクです。会社の経営が悪化すると、信用リスクが高まり、発行している株式や債券の価値が下がります。 |
| その他の
（流動性等）
リスク | ファンドの組入れ資産が現金化できない、その他不測の事態が発生した場合に投資元本を割込むリスクです。 |

上記の主なリスクは一般的なリスク要因を記載したものであり、ファンドのもつ全てのリスクを網羅するものではありません。各ファンドにおけるリスクの詳細は最新の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご確認ください。

当行が契約している指定紛争解決機関

全国銀行協会 連絡先：全国銀行協会相談室（電話：0570-017109または03-5252-3772）